

MAXZEN

スポットクーラー（業務用）

取扱説明書

品番 MSC-MT18B01

もくじ

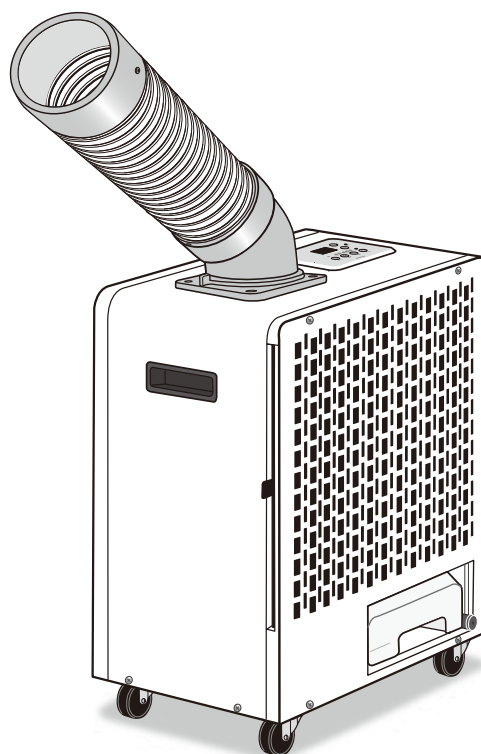
ページ

安全上のご注意	P1～4
知っておいていただきたいこと	P5～6
コンプレッサーの保護機能に関して	P7
各部のなまえ	P8
ご使用前の準備	P9
アース線の接続	P10
操作パネルについて(ボタン説明)	P11
運転をする	P12～14
ドレン水を排水する	P15
お手入れのしかた	P16
故障かな?と思ったら	P17～18
エラー表記について	P19
製品仕様（保管のしかた）	P20
長期使用製品安全表示制度	P21
に基づく本体表示について	
別売品	P22

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

日本国内専用

屋内/準屋内用



この製品は人用のスポットクーラー（簡易冷房）です。それ以外の目的・用途には使用しないでください。
この製品は屋外では使用できません。屋内または準屋内（屋根があり、直射日光や雨が当たらない場所）でのみ使用してください。製品の故障や変形、変色の原因になります。

このたびは「スポットクーラー（業務用）」をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解されたうえで事故が起こらぬように記載内容に従って正しくご使用ください。一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認ができるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。
製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 人が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

 記号は、「禁止」(しないでください)を示します。

 記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告

 分解禁止	絶対に改造、分解、修理をおこなわない ●火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。	 禁止 電源コードを傷つけない 電源コードをステーブルなどで固定しない 引っ張る、無理に曲げる、重い物をのせる、ねじる、傷つける、加工する、挟み込む、高温部に近づけるなどをしてしない ●電源コードが破損し、感電・故障・発熱発火で火災の原因になります。 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない ●ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードを束ねたまま使用しない ●過熱してやけど・火災の原因になります。 からだの不自由な人や子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所で使用や設置・保管はしない また、おもちゃとして絶対に使わせない ●感電・けがの原因になります。 運転中に、電源プラグを抜かない ●故障の原因になります。必ず電源を切ってファンが停止してから電源プラグを抜いてください。 発電機やポータブルバッテリーなどの電源は使用しない ※必ず商用電源を使用する ●商用電源に対応しているため、故障の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、操作ボタンを触らない ●感電・けがのおそれがあります。	
 水ぬれ禁止	浴室、温室などの高温多湿の場所や、雨水や雪解け水のある場所では使用しない ●絶縁部が劣化し、火災・感電の原因になります。 本体に水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いしたり、水のいった花瓶などをのせたりは絶対にしない ●内部に浸水して火災・感電・漏電の原因になります。	
 禁止	日本国内専用 / 屋内用 使用目的以外に使用しない 室内のみで使用し、屋外では使用しない	
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの大きな電力を使う機器と併用するたこ足配線）や交流 100V 以外では使わない ●たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火の原因になるとともに、接続している機器が損傷するおそれがあります。	

警告

 禁止	排熱口・吸気口・吹出口・すき間から物や手を入れない ●内部には高速回転するファンや高電圧部があるので、感電・けがのおそれがあります。 燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない ●故障や変形のおそれがあります。また冷風運転が正常に作動しない場合があります。 可燃性ガスが発生する場所や、たまる場所では使用しない ●爆発・火災の原因になります。 灯油・ガソリン・シンナー・塗料・溶剤など引火性の物や爆発のおそれがある物の近くで使用しない ●爆発・火災の原因になります。 マグネシウム・アルミニウム・チタン・亜鉛や化学物質などの爆発性粉塵の近くで使用しない ●爆発・火災の原因になります。 可燃性ガス（掃除用・殺虫用・整髪用など）や市販のエアコン洗浄スプレーを本体に吹きかけない ●故障・変色、製品内部の破損、排水経路の詰まりによる水漏れの原因になります。	 禁止	次の場所では使用しない ・ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる所 ・雨や水しぶきのかかる所 ・油・ホコリ・金属粉の多い所 ・粉塵が浮遊する所 ●燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして、火災や感電の原因になります。 風をストーブなどの燃焼器具に向けない ●不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒・火災の原因になります。 直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しない ●故障や色あせ、熱による変形の原因になります。 煙が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは、運転をしない ●本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて健康を害するおそれがあります。殺虫剤使用後は、十分換気してから運転してください。 長時間、風を直接からだに当てたり、冷やしすぎたりしない ●体調悪化や健康障害の原因になります。特に乳幼児やお年寄り、からだの不自由な方にはご注意ください。
 必ず守る	AC100V 15A以上のコンセントを単独で使用する 【コンセントの差込口が2口以上になっても単独で使用する】 ●過熱による発火・火災・感電の原因になります。 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く ●発煙・発火・火災・感電のおそれがあります。 [異常例] ・異常な音やにおいがする ・電源プラグやアース線、電源コードが異常に熱くなる ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・使用中時々電源が切れる ・触れるとビリビリと電気を感じる ※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。	 必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む ●感電・ショート、発熱による火災の原因になります。 長期間使用しないときは、コンセントから必ず電源プラグを抜く ●絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く ●コードが破損して感電・ショート・火災の原因になります。 電源プラグのゴミやホコリは定期的に乾いた布で取り除く ●湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠ 警告

 禁止	火花が散る場所で使用しない ●フィルターに着火して火災のおそれがあります。	 禁止	障害物（カーテンなど）の周囲や不安定な場所で使用しない ●転倒・水漏れ・事故・故障の原因になります。
	本体内部のアルミフィンに触らない ●手を切るなどけがのおそれがあります。		
 アース線接続	アース線を接続する（詳細は 14 ページを参照） ●接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電するおそれがあります。 【アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに絶対に接続しない】		
	コンセントやアース線の増設などの電気工事は必ず電気工事士がおこなう ●誤った電気工事は火災・感電の原因になります。 【電気設備基準や内線規定に従って安全・確実にこなってください。】		

⚠ 注意

 禁止	吹出口や排熱口を塞いだりしない ●発熱・発火・故障の原因になります。	 禁止	特殊用途で使用しない ・食品の保存、動物飼育室、温室 ・精密機器、コンピュータールーム、医療品などの維持・管理・保存など ●品質低下や劣化、故障の原因になります。
	フィルターを外したまま使用しない ●内部にホコリを吸い込み、故障の原因になります。		
	本製品の上に水の入った容器などをのせない ●水がこぼれて本体内部に浸入すると、感電の原因になります。		床にワックスがけをするときは使用しない ●本体内部にワックス成分が付着し、水もれの原因になります。 ワックスがけの後は、十分換気してから運転してください。
	本製品によりかかったり、倒したり、のったり、ぶついたりして強い衝撃を与えない ●故障・破損の原因になります。		振動のある場所・傾斜のある場所・周りに不安定な物が置いてある場所で使用しない 階段・非常口・玄関などで使用しない ●本体が動いたり倒れたりして、製品の破損やけがの原因になります。
	本体を横に倒したまま運ばない ●内部部品が破損して、感電・火災の原因になります。		動植物に直接風をあてない ●害を与えるおそれがあります。
	船舶や車両などでは使用しない ●内部部品が破損して、感電・火災の原因になります。		ペット用空調機器として使用しない ●ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因になります。

⚠ 注意

 必ず守る	指定の環境で使用する 16～40℃以内で使用してください。 ●指定の環境以外で使用すると、製品の故障や感電・火災の原因になります。	 必ず守る	延長コードを使用するときは、断面積 2mm² 以上、長さ8m以内の物を使用する ●電圧降下により製品が正しく運転しないことがあります。できるだけ延長コードは使用せず、電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。
	ドレンタンクに水が確実に排水されていることを確認して使用する ●水漏れして周囲を汚損する原因になります。		燃焼器具と一緒に使用するときは、こまめに換気をする ●一酸化炭素中毒の原因になります。 ※本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去する物ではありません。
	本体を移動するときは、運転を停止し、必ずコンセントから電源プラグを抜いて内部の水を捨ててからおこなう ●床を汚す原因になります。また、ドレンタンク内の水が本体内部に浸入し、感電の原因になります。		使用時はキャスターのストッパーを固定（ロック）する ●不意に本体が動いて、製品の破損やけがの原因になります。※6 ページ参照
	お手入れや点検の際は、必ずコンセントから電源プラグを抜く ●感電やけがの原因になります。		落雷のおそれのあるときは、運転を停止し必ずコンセントから電源プラグを抜く ●落雷すると故障の原因になります。
	異常な振動や異音がした場合は、使用を中止する ●部品の落下などによるけがの原因になります。		

知っておいていただきたいこと

- 本製品は冷房機（セパレートエアコン）ではありません。簡易的な冷房としてご使用ください。スポット冷房機のため、部屋全体を冷やすことはできません。
- 室温が約 16℃～40℃の範囲の環境でご使用ください。（7 ページ参照）
- 本体の周辺温度について
 - ・ディスプレイ表示される温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周辺温度になります。
 - ・設置場所によっては、温度が正確に表示されない場合があります。
- 冷風運転時の設定温度について

周辺温度より低い温度に設定してください。高い温度に設定した場合は、冷風運転をしません。
ただし、ファンは連続運転し、送風運転を続けます。
（ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります）
- 夏場は、ドレン水が溜まりやすいため、冷風・ドライ運転時は付属のドレンホースを使用することをおすすめします。
- 落雷などで停電した場合は、一旦運転を停止してコンセントから電源プラグを抜いてください。再度使用するときは、5 分以上時間をおいてから使用してください。

次のような現象は製品の異常や故障ではありません

- 音がする
 - 運転開始直後や停止直後に、ユニットの中を冷媒液が流れる音がすることがあります。
 - 運転開始時・停止時に、本体の熱膨張や熱収縮による音がすることがあります。
 - 運転中に、本体内部でドレン水を蒸発処理している音がすることがあります。
 - 本製品は、コンプレッサーが稼働すると、大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- ニオイがする
 - 購入後しばらくは、ニオイがすることがありますが、使用を続けることで少なくなります。
また、ユニットに付いた部屋の芳香剤や化粧品、汗などのニオイがする場合もあります。
- 霧について
 - 冷房運転中にドレンホース付近から、霧(煙)のようなものが見えることがあります。
これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。
- 結露について
 - 部屋の湿度が80%以上あるときに、長時間にわたって冷風運転を続けると、ドレンホースの付近に結露が付き、落ちることがあります。
- アルミフィンについて
 - 熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

知っておいていただきたいこと

設置について

- 本製品の本体重量は約30kgです。平らで安定した、重量に十分耐える場所に設置してください。また、人の手で運ぶときは、2人以上で設置・移動をおこなってください。

※畳の上や、やわらかいフローリングの上など傷がついたり、設置跡が残る可能性のある場所には、設置しないでください。

※設置場所には十分注意してください。設置跡に関しては弊社では責任は負いかねます。

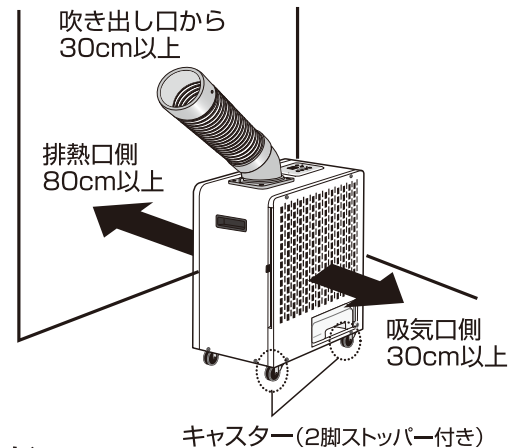
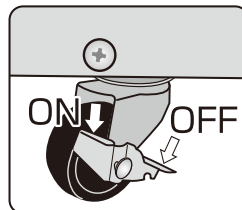
- 使用の際は、吸気口・排熱口をふさがないように、吸気口と吹き出し口からは30cm以上の距離を空けてください。排熱口からは80cm以上の距離を空け、周囲に障害物がないようにして設置してください。

→カーテンなどが吸気口に吸い付き、故障の原因になります。



設置後は必ずキャスターをON(ロック)してください。

※2箇所にもストッパーが付いています。



- テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離してください。

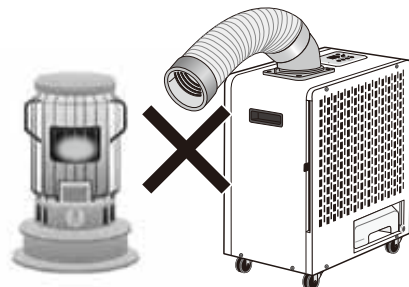
→電波障害の原因になります。

- 風をストーブなどの燃焼器具に向けない
- 燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない

→燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。

→故障や変形のおそれがあります。

→冷風運転が正常に作動しない場合があります。



- 本体の上に物を置いたり、のったり、寄りかかったり、倒したり、強い衝撃を与えない

→けがや事故、破損・故障の原因になります。

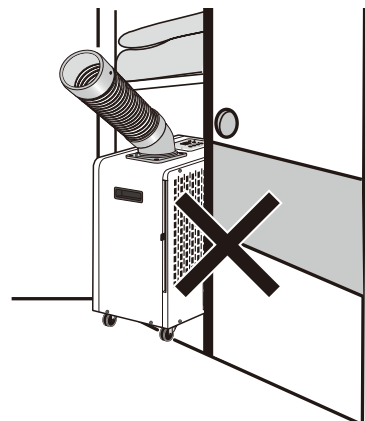
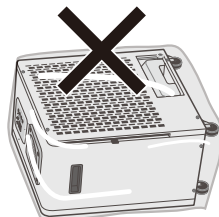
- 押し入れや家具のすき間など、狭い場所に設置して使用しない

→発熱や発火、故障の原因になります。

- 本体を横倒しにしたり、横倒しにして設置や移動・保管しない

→けがや事故、故障の原因になります。

→コンプレッサーなどの内部不具合の原因になります。



コンプレッサーの保護機能に関して

■室温が約 16℃～40℃の範囲の環境でご使用ください。

⇒ 以下の環境になると、保護機能が働き、「冷風 / ドライ ⇒ 送風」に運転が自動で切り替わります。

● 本体周辺の温度が 41℃以上、15℃以下のとき

● 冷却ユニットに霜が付いた場合

※ 本体内部の温度センサーと実際の室温に差が生じることがあります。

※ 使用温度範囲は、湿度によっても変わります。目安としてください。

※ ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります。

冷風運転	15℃以下	16℃ ～ 40℃	41℃以上
ドライ運転	送風	冷風	送風

※ 冷風運転・ドライ運転中に本体の周辺温度が 41℃以上 15℃以下になり「冷風 / ドライ⇒送風」に切り替わった場合、製品の温度センサーが「16℃～40℃」感知後、自動で冷風運転またはドライ運転に切り替わります。

※ 周辺温度が 35℃以上の場合、周辺温度が 40℃以下でも、本体内部の温度センサーが 41℃以上と感知してコンプレッサーの入切を繰り返す場合があります。(周辺温度と本体内部の温度には差があります)

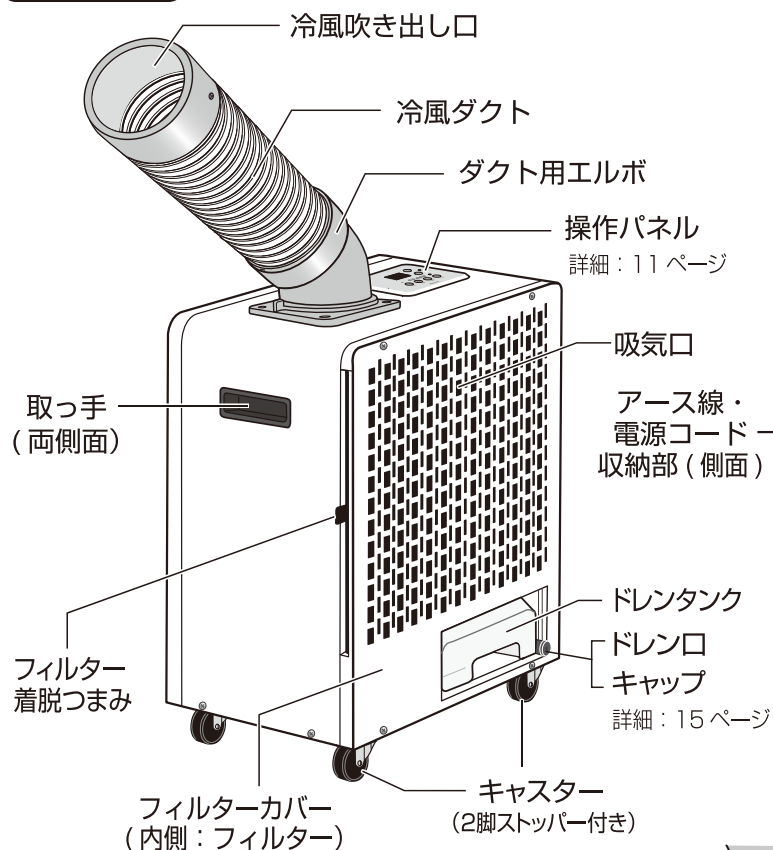
密閉空間では、コンプレッサーの入切を繰り返すことで次第に室温が下がり、連続して冷風運転がおこなわれるようになります。

※ 冷風運転・ドライ運転中に冷却ユニットに霜が発生した場合、「冷風 / ドライ ⇒ 送風」に自動で切り替わり、霜が溶けたあと、自動で冷風運転またはドライ運転に切り替わります。

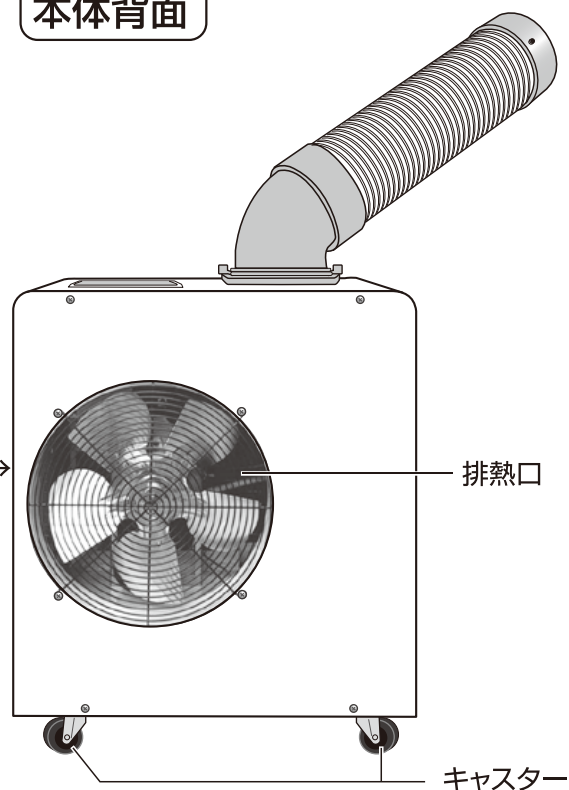
-
- モードを切り替えた際、数十秒から数分間コンプレッサーの起動に時間がかかります。
 - 電源を切った後すぐに再度電源を入れた場合でも、コンプレッサーの起動に時間がかかります。

各部のなまえ

本体前面



本体背面



本体側面

アース線・電源コード収納部



必ず正しくアース接続をおこなう

●接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。
詳細：10 ページ



禁止

電源コードは束ねたまま使用しない

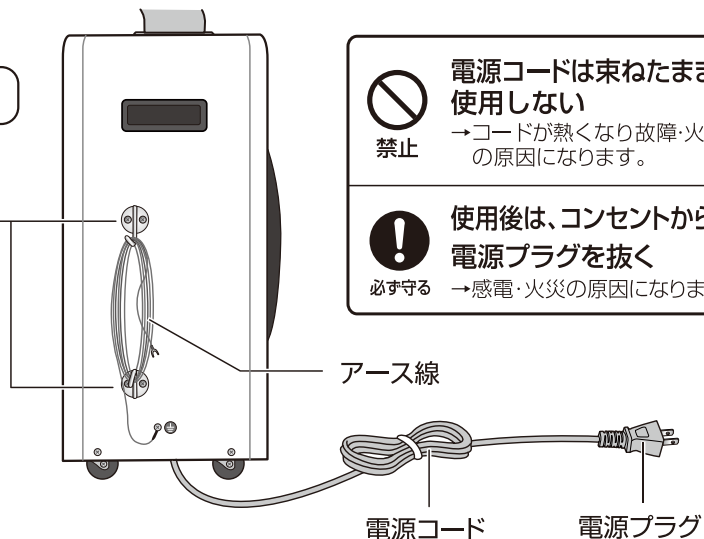
→コードが熱くなり故障・火災の原因になります。



必ず守る

使用後は、コンセントから電源プラグを抜く

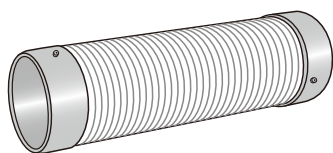
→感電・火災の原因になります。



《付属品》

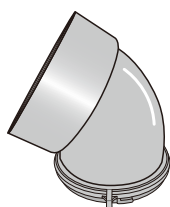
■冷風ダクト

詳細：9 ページ



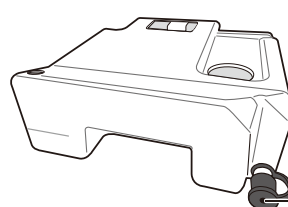
■ダクト用エルボ

詳細：9 ページ



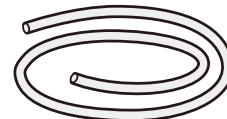
■ドレンタンク

詳細：15 ページ



■ドレンホース

詳細：15 ページ

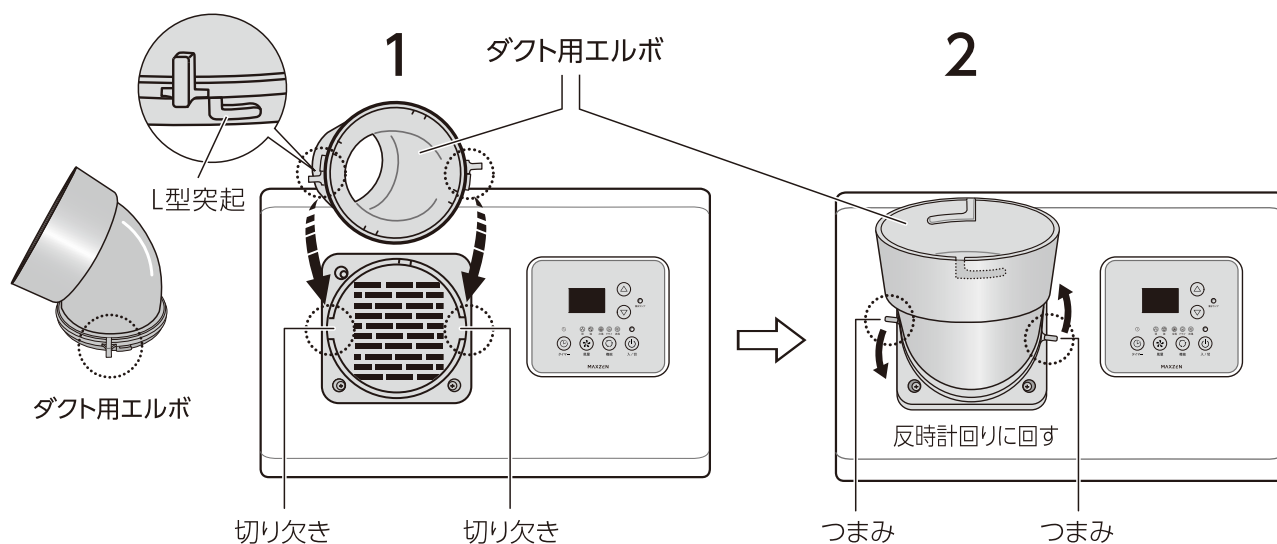


ドレン口

ご使用前の準備

■ダクト用エルボを取り付ける

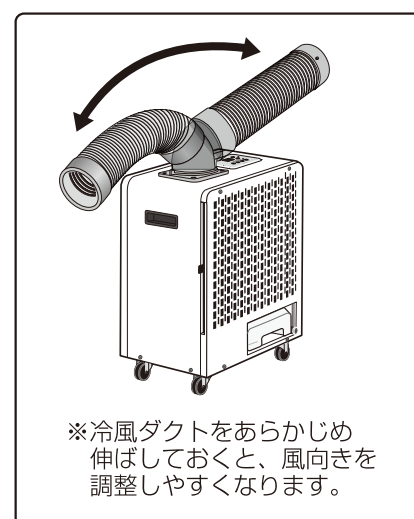
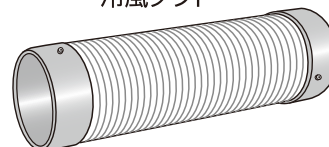
- 1 本体のダクト用エルボの取り付け口の2箇所の切り欠きに、ダクト用エルボのL型突起部分をあわせて差し込みます。
- 2 ダクト用エルボの2箇所のつまみを持って、反時計回りに回し、2つのつまみが平行になるようにしてロックします。時計回りに回すとロックが解除されます。
※安全のためロック・ロック解除は固くなっています。



■冷風ダクトを取り付ける

冷風ダクトの2箇所の凸部を、ダクト用エルボの2箇所の切り欠きに合わせて差し込み、反時計回りに回してしっかり取り付けます。

冷風ダクト



アース線について

《アース線の接続》



必ず守る

ご使用の前に、必ず正しくアース線の接続をおこなってください。
→接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。

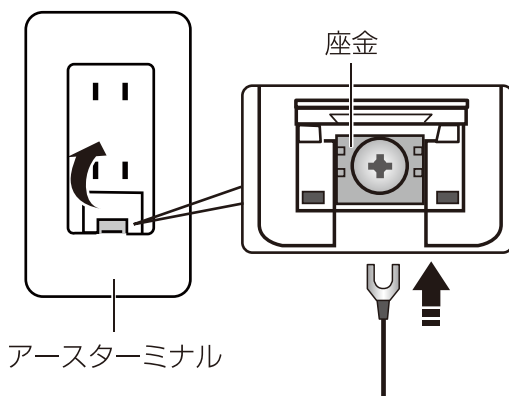
【注】アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しない

■漏電遮断機、アース端子が付いていないコンセントの場合

●アース端子を増設する工事は「D種接地工事」と呼ばれ、有資格者でなければ施工できない工事にあたります。

【注】アース端子の増設は専門業者の電気工事の資格を持つ方へ依頼してください。

1 アース線を接続します。



①コンセントの「アースターミナル」の蓋を開けます。
→中にネジ、その下に座金があります。

②プラスドライバーでネジを反時計回りに回して緩めます。
ネジを緩めるとその下にある座金と一緒に浮いてきます。

③座金の下にアース線の先端を潜り込ませます。

④ネジを時計回りに回して締めて座金を固定していきます。
※ネジと座金を固定し終えたらアース線を手で引っ張り、線が抜けないか確認してください。

⑤蓋を元通りに閉じます。

2 コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込みます。

※アース線の接続が完了してから最後に電源プラグを差し込みます。

市販のアース線を使用する場合

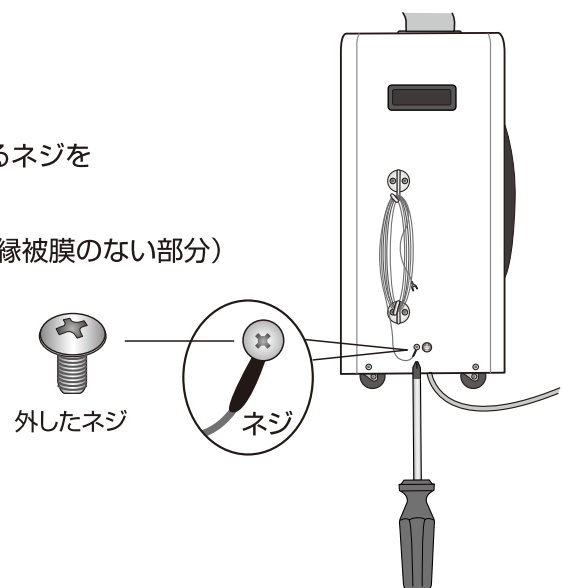
●軟銅線 断面積 2.0mm²（直径1.6mm）以上のアース線を使用してください。

①プラスドライバーで、本体側面にあるアース線を固定しているネジを半時計回りに回して取り外します。

②取り外したネジに用意したアース線の片方の先端の銅線（絶縁被膜のない部分）を巻きつけてから、ネジを再度本体に装着してプラスドライバーで時計回りに回して固定してください。

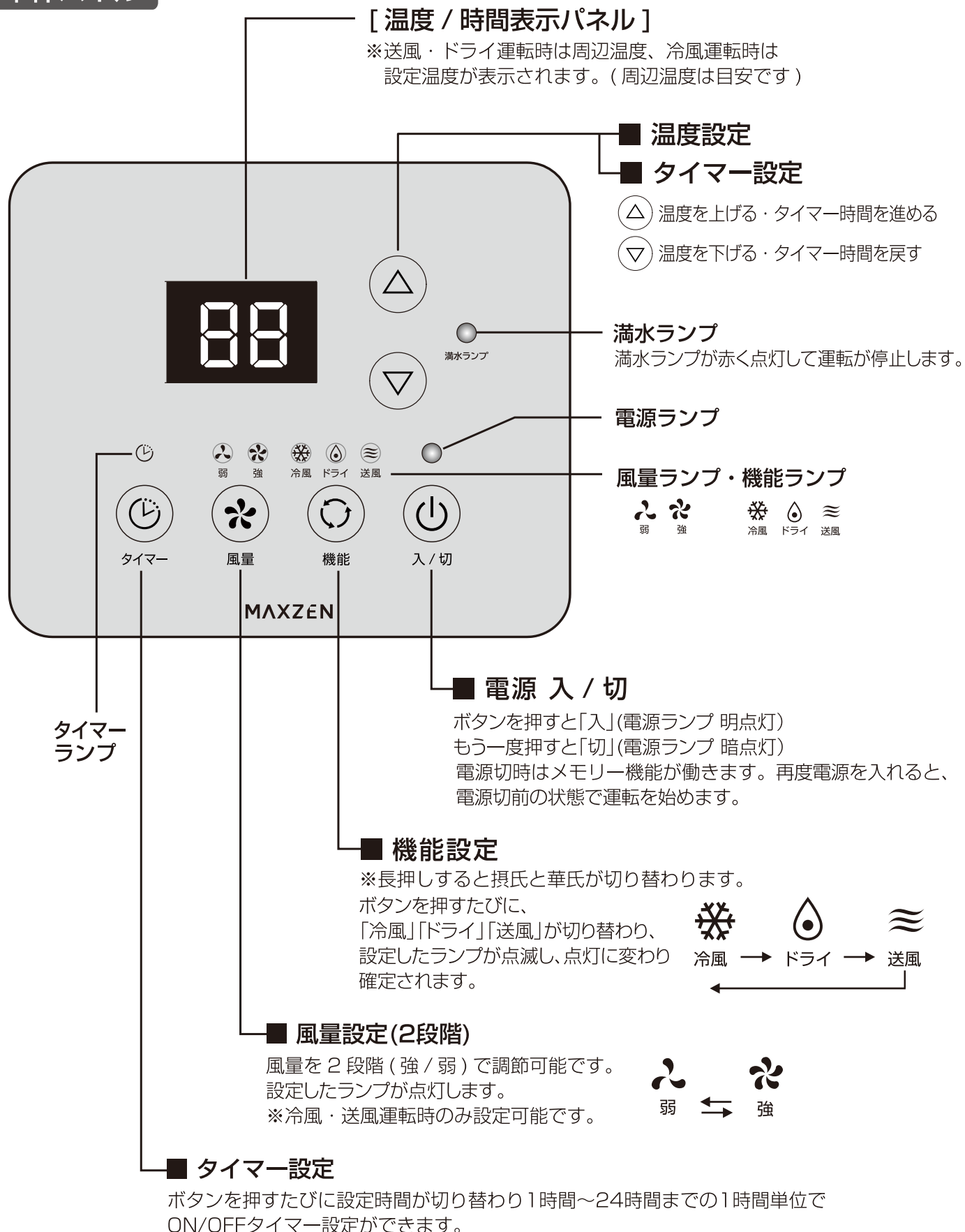
■アース線の効果

- ①漏電時の感電を防ぎます。
- ②余分な電気エネルギーを地面に逃し、電気の流れを安定させることで家電の動作に影響を与えるノイズを軽減します。
- ③電磁波を軽減します。



操作パネルについて(ボタン説明)

本体パネル



運転をする



必ず守る

交流100V 15A以上のコンセントを単独で使用してください。

むやみにボタン操作を繰り返す行為はしないでください。→ 故障の原因になります。



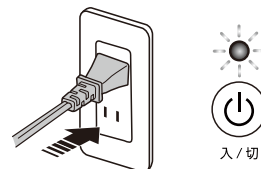
警告

ぬれた手で操作しない → 感電やけがのおそれがあります。

- コンセントにアース線の接続をし、電源プラグを確実に差し込むと、電源ランプが暗く点灯し、待機状態になります。

※アース線の接続については10ページ参照

- 操作ボタンを押すごとに「ピッ」と鳴ります。



■ 電源入/切



入/切

電源入/切ボタンを押すと電源ランプが明るく点灯し、
運転を開始します。



入/切

※ドレンタンクが確実にセットされていない場合は、警告音が鳴り、温度 / 時間表示パネルに **Ft** 表示が出て満水ランプが赤く点灯し、運転を開始することができません。

冷風運転

冷風運転中は、設定温度を維持するためにコンプレッサーが ON/OFF します。

- 設定温度は16～32℃です。
- 風量ボタンを押して強/弱の風量設定が可能です。
- 設定温度と周辺温度が同じになると、送風に切り替わります。

1



入/切

機能ボタンを押すごとに [❄ 冷風] → [☀ ドライ] → [≈ 送風] の順番で機能ランプが点灯し、機能が切り替わります。

[❄ 冷風] を選択します。→ 冷風ランプが点灯します。

※本体表示部に「冷風」「風量設定」「設定温度」が表示されます。

2



温度設定ボタンで 温度を設定します。→ 表示パネルに温度が表示されます。

- 1 回押すごとに 1℃ 上がるまたは下がります。

※周辺温度（部屋）の温度よりも低い温度に設定してください。

周辺温度（部屋）の温度よりも高い温度に設定した場合は、冷風運転をしません。

※設定温度と周辺温度が同じになると、送風に切り替わります。

周辺温度が設定温度より高くなると冷風に切り替わります。

3



風量

風量ボタンを押して [弱] or [強] を選択します。→ 選択した風量ランプが点灯します。

ボタンを押すたびに「弱」「強」2段階の風量が切り替わります。

4



入/切

運転を止める

- 運転中に 電源入 / 切ボタンを押します。→ 電源ランプが暗く点灯し、待機状態になります。



禁止

運転中に、電源プラグを
抜かない

故障の原因になります。

必ず電源を切ってファンが停止してから電源プラグを抜いてください。



注意

湿度が高い場所で運転すると、ドレン水がたまりやすくなります。ドレン水が満水になると警告音が鳴り、温度 / 時間表示パネルに **Ft** が表示されて満水ランプが赤く点灯し、送風運転に切り替わって運転が停止することがあります。停止したときは、ドレンタンクの水を捨て、本体に正しくセットしてください。

運転をする つづき

ドライ運転

風量弱のみで運転、温度設定はできません。

- 
入 / 切
電源入/切ボタンを押すと電源ランプが明るく点灯し、運転を開始します。
- 
機能
機能ボタンを押して [ ドライ] を選択します。→ドライランプが点灯します。
※環境温度に応じてコンプレッサーの入/切を繰り返して乾燥した風を送り出し湿度を下げます。
- 
入 / 切
運転を止める
運転中に 電源入 / 切ボタンを押します。→ 電源ランプが暗く点灯し、待機状態になります。



禁止

運転中に、電源プラグを 抜かない

故障の原因になります。
必ず電源を切ってファンが停止して
から電源プラグを抜いてください。



注意

湿度が高い場所で運転すると、ドレン水がたまりやすくなります。ドレン水が満水になると警告音が鳴り、温度 / 時間表示パネルに  が表示されて満水ランプが赤く点灯し、送風運転に切り替わって運転が停止することがあります。停止したときは、ドレンタンクの水を捨て、本体に正しくセットしてください。

送風運転

温度設定はできません。

※送風運転中は排熱口のファンは動作しません。

- 
入 / 切
電源入/切ボタンを押すと電源ランプが明るく点灯し、運転を開始します。
- 
機能
機能ボタンを押して [ 送風] を選択します。→ 送風ランプが点灯します。
- 
風量
風量ボタンを押して [] or [] を選択します。→ 選択した風量ランプが点灯します。
ボタンを押すたびに「弱」「強」2段階の風量が切り替わります。
- 
入 / 切
運転を止める
運転中に 電源入 / 切ボタンを押します。→ 電源ランプが暗く点灯し、待機状態になります。

運転をする つづき

ON/OFF タイマー運転

設定した時間が経過すると自動的に運転を ON/OFF します。

- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や、停電した場合は、設定が解除されますので最初から操作をやり直してください。



タイマー

タイマーボタンを押します。→タイマーランプが点灯します。

1～24時間の1時間単位でON/OFFタイマー設定ができます。

[OFFタイマーを設定する] ⇨ 運転している状態で押します

- 運転状態でタイマーボタンを押し、時間表示が点滅している間に OFF タイマー時間を設定する
→タイマーランプが点灯します。



ボタンで

※タイマー設定時に数字が表示され、点灯後に設定完了(点滅中は設定変更可能)

※設定完了後、送風運転・ドライ運転は周辺温度、冷風運転は設定温度が液晶パネルに表示されます。

※タイマー時間を0にするか、電源オフにするとタイマーはリセットされます。

[ONタイマーを設定する] ⇨ 待機している状態で押します

- ①待機状態でタイマーボタンを押し、時間表示が点滅している間に OFF タイマー時間を設定する
→タイマーランプが点灯します。



ボタンで

※タイマー設定時に数字が表示され、点灯後に設定完了(点滅中は設定変更可能)

- ② 風量ボタン・機能ボタンを押してお好みの設定をする

→設定したタイマー時間(残りのタイマー時間)が1時間単位で液晶パネルに表示され、タイマーランプと設定した風量(弱 or 強)ランプ・機能(冷風 or ドライ or 送風)ランプが点灯します。

※タイマー時間を0にするか、電源オフにするとタイマーはリセットされます。

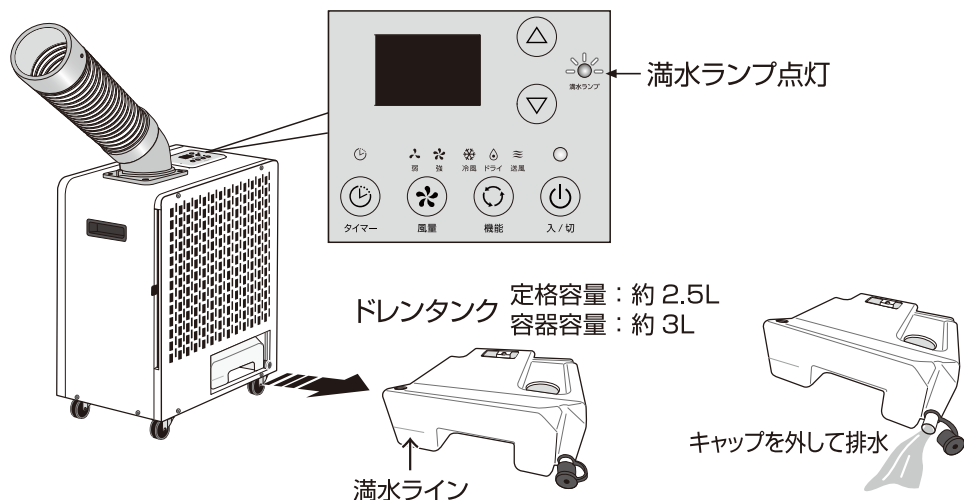
ドレン水の排水

■ 熱交換器で除湿された水は本体下部のドレンタンクにたまります。

- 除湿水量は、気温や湿度、熱交換器の汚れなどによって異なります。
梅雨の時期はとくに除湿水量が多くなりますので、ドレンタンクを見て確認してください。
- 本体を移動するときは、あらかじめドレンタンク内の水を捨ててから移動してください。
- ドレンタンクのキャップは力を入れて奥まで差し込んでください。差し込みがゆるいと水漏れの原因になります。

■ 満水ランプ

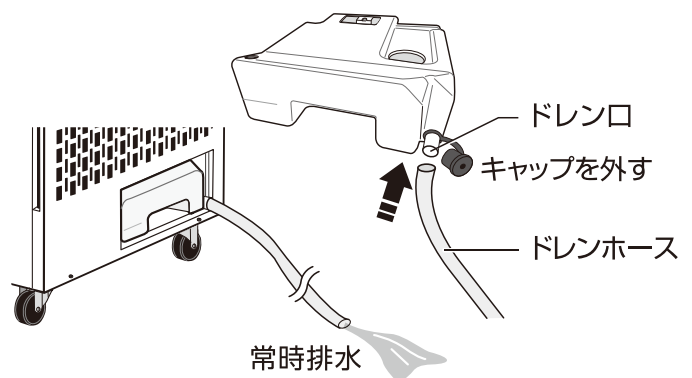
- ドレンタンクの満水ラインを超えると、警告音が鳴り、温度 / 時間表示パネルに **F** と表示が出て満水ランプが赤く点灯します。
- 満水ランプが点灯したときは、本体からドレンタンクを取り出して水を捨て、必ず正しく本体に取り付けてください。
- 粉塵やほこりなどの多い場所で使用すると、本体の排水口に粉塵などがたまり、水が漏れることがあります。
- ドレンタンクが確実にセットされていない場合は、警告音が鳴り、温度 / 時間表示パネルに **F** と表示が出て満水ランプが赤く点灯し、運転ができません。



■ ドレンホースを取り付ける

- ドレンホースを使用してドレン水が常時流れるようにしておくと、ドレンタンクの満水を気にせずに使用できます。

- 1 本体からドレンタンクを取り出します。
- 2 ドレンタンクのキャップを外し、ドレン口に付属のドレンホースを取り付けます。
※ドレンホースは排水場所に合わせて長さを調節してください。
- 3 ドレンホースが折れ曲がらないように注意して本体にドレンタンクをセットし、ドレンホースのもう一方を排水する場所に向けます。



【注】必ずドレン口よりも低い位置にある、確実に排水できる場所に向けて排水してください。

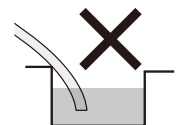
保護装置

- 電流異常やモーターの異常過熱が発生した場合、コンプレッサーを保護するために自動的に電源がオフになります。
保護装置が作動した場合は、電源を切り、3 分以上時間をおいてから再度電源を入れてください。
- ※ 周辺温度が高い場合でも保護装置が作動する場合があります。(7 ページ参照)

【注】頻繁に保護装置が作動する場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様サポートセンターにお問い合わせください。



ドレンホースの先端を
水の中に入れない
→ 排水できなくなり水漏れ
の原因になります。



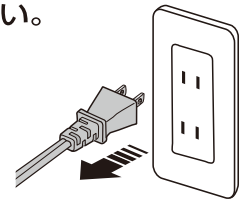
お手入れのしかた

- 必ず電源を切り、コンセントから電源プラグ、アース線を抜いてからおこなってください。
- お手入れは2週間に1回以上おこなってください。
- フィルターにホコリが溜まると、冷風効果（冷房効果）が弱くなります。



注意

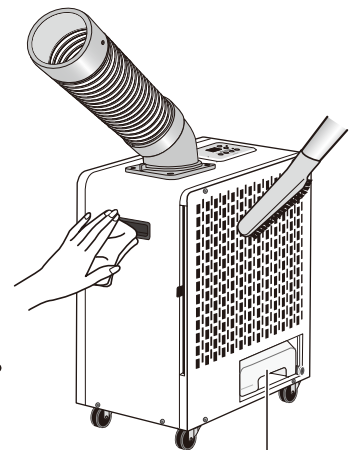
- 本体は、水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない
→内部に水が入り、故障の原因になります。
- みがき粉・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・化学ぞうきん・
金属たわし・硬いたわしなどは使わない →変色や変形の原因になります。
- 40℃以上のお湯は使わない →変形の原因になります。



本体

水洗いできません

- 水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る
汚れのはげしい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き
取ってください。その後、洗剤や水分が残らないようにきれいに拭いてください。



ドレンタンク

冷風ダクト・ダクト用エルボ ドレンタンク・ドレンホース

水洗いできます

- 本体からドレンタンクを外し、ドレン水を抜いたあと内部を洗って乾かします。
- 長期間収納するときにはそれぞれを分解して、洗ってください。
洗った後は、水気が残らないように十分乾燥させてください。
→上記をおこなわないと内部にカビが発生する原因になります。

フィルター

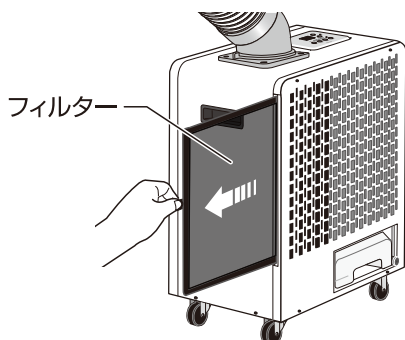
水洗いできます

- ①フィルター着脱つまみを横に引っ張ってフィルターを取り出します。
- ②フィルターの汚れを掃除機のブラシを使って吸い取ります。
汚れのはげしい場合は、やさしく水洗いしてよく乾燥させ、必ず本体に取り付けてください。



厳守

**フィルターを外したままで、本体の運転は
絶対におこなわない** → 故障の原因になります。



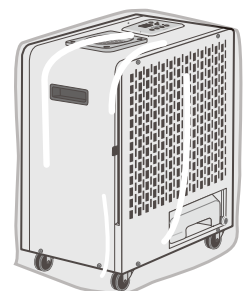
フィルター



フィルター

保管

ほこりを避けて上から
ビニール袋などを
掛けてください。
詳しくは20ページ
「保管のしかた」を
ご参照ください。



電源プラグ

水洗いできません

- ゴミやホコリは定期的に
乾いた布で拭き取ります。



故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みにになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

症 状	対処方法
電源が入らない 運転が始まらない	●コンセントに電源プラグが確実に差し込まれていますか？ → 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。 ●電源が ON になっていますか？ → 電源入 / 切ボタンを押して電源を ON にしてください。(12 ページ参照) ●ドレン水がたまっていますか？ → ドレンタンクを取り出して排水してください。(15 ページ参照) ●ドレンタンクが正しくセットされていますか？ → ドレンタンクを正しくセットしてください。
冷え方が弱い (冷風・ドライ運転時)	●フィルターがホコリで汚れていませんか？ → フィルターを外して掃除してください。 2 週間に 1 回は掃除をしてください。(16 ページ参照) ●窓や戸が開いていませんか？ → 窓や戸を閉めてください。直射日光が当たる場合は、カーテンやブラインドでさえぎってください。 ●部屋の中に熱源になっているものはありませんか？ → 室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。 ●付属品以外の冷風ダクトを使用したり、冷風ダクトを連結するなどして長さを延長していませんか？ → 冷風ダクトは必ず付属品を単独で使用してください。付属品以外の冷風ダクトを使用したり、冷風ダクトを連結するなどして長さを延長すると排気熱が冷風ダクト内に留まり、正常な排熱処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。(7 ページ参照) ●延長コードを使用していませんか？ → 延長コードは断面積が 2.0mm² 以上のものを 8m 以内で使用してください。
冷風が出ない (冷風運転時)	●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？→ 7 ページ参照
送風が停止する (冷風・ドライ運転時)	●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？→ 7 ページ参照 ●ドレン水がたまっていますか？ → ドレンタンクを取り出して排水してください。(15 ページ参照)

故障かな？と思ったら

症 状	対処方法
室温や設定温度以外の数字が表示される	●華氏表示になっていませんか？ → 本体の機能ボタンを長押しして摂氏表示に戻してください。
ブレーカーが落ちる	●本体を横に寝かせませんでしたか？ → 24時間以上縦置き（正常位置）の状態置いてから再度運転をおこなってください。 ※運送会社によっては、配送時に横積みをしている場合があります。 ●建物内の同コンセントの回路内で、消費電力の大きい製品を使用していないか？ → 異なる場所のコンセントでも、同コンセント回路内で消費電力の大きい製品を使用しているとブレーカーが落ちます。
本体から水が漏れる	●ドレンタンクが破損していませんか？ → お買い上げの販売店もしくは弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。 ●ドレンタンクのキャップが緩んでいませんか？ → ドレンタンクのキャップを奥まで確実に差し込んでください。

故障ではありません

※5.6 ページ：「知っておいていただきたいこと」にさらに詳しく記載しております。あわせてご参照ください。

●コンプレッサーが入切を繰り返す

→室温が約16℃～40℃の範囲の環境でお使いください。
室温が35℃以上の場合、周辺温度が40℃以下でも本体内部の温度センサーが41℃以上と感知して、コンプレッサーの入切を繰り返す場合があります。密閉空間では、コンプレッサーの入切を繰り返すことで次第に室温が下がり連続して冷風運転がおこなわれるようになります。

●停止直後に再運転ができない

→運転を停止後、数分間は再運転を止めて内部の機器を守り、ヒューズ切れを防ぎます。

●運転音が大きい

→本体を平らな所に設置しているか、冷風ダクト・ダクト用エルボが正しく取り付けられているかを確認してください。

●電源プラグが異常に熱い

→コンセントへの差し込みが確実におこなわれていない場合や、ガタついている場合は、異常に加熱します。別のコンセントに正しく差し込み直すか、工事業者に依頼してコンセントの交換をおこなってください。交換しても異常に加熱する場合は、販売店にご相談ください。
※使用中に、電源プラグが多少熱を帯びることは異常ではありません。

運転中に、停電になったり、電源ボタンを押さずに電源プラグを抜いて運転停止した場合は、停電復旧後やコンセントに電源プラグを差し込んだ時点で、電源ボタンを押さなくても運転を再開します。

※故障の原因になりますので運転停止する場合は、必ず電源ボタンを押して電源を切り、ファンが停止してから電源プラグを抜いてください。

エラー表記について

E0	基盤の通信不良・警告音が鳴ります。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
E1	周辺温度センサーの故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
E2	蒸発器、凝縮器のセンサー故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
Ft	満水のお知らせ：警告音が鳴ります。満水ランプが赤く点灯し、約3分間の送風後に運転が停止します。 →電源を切り、ドレンタンクを排水して取り出してください。(15ページ参照) ●頻繁に満水表示が出る場合は、ドレンホースを取り付けて連続排水してください。 →連続排水中にドレンホースが折れたり曲がっていないか、確認してください。
※どのエラー表記もいずれかのボタンを押すと音は止まります。	

知っておいていただきたいこと

※5.6 ページ：「知っておいていただきたいこと」にさらに詳しく記載しております。あわせてご参照ください。

- 本製品は冷房機（セパレートエアコン）ではありません。
簡易的な冷房としてご使用ください。
- 付属の冷風ダクトを使用して、排気の処理を適正におこないますと、
経済的・効果的にご使用いただけます。
- 落雷などで停電した場合は、一旦運転を停止してコンセントから電源プラグを
抜いてください。
再度使用するときは、5分以上時間をおいてから使用してください。

フロン排出抑制法 第1種特定製品

- 1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- 2) この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 3) フロン類の種類、冷媒番号、地球温暖化係数および数量

種類	冷媒番号	地球温暖化係数	数量
HFC	R410A	1920	0.38kg



地球温暖化防止の為、廃棄などにあたってはフロン類の回収が必要です。

製品仕様

定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	50Hz：670W、60Hz：750W
電動機の定格消費電力	50Hz：540W、60Hz：625W
力 率	50Hz：85%、60Hz：99%
定 格 除 湿 能 力	50Hz：22L/日、60Hz：26L/日
運 転 電 流	50Hz：7.9A、60Hz：7.6A
電 流 ヒ ュ ー ズ	2A
冷 媒 の 種 類	HFC-R410A (地球温暖化係数1920)
冷 媒 封 入 量	380g
冷 房 能 力	50Hz：1.6KW、60Hz：1.8KW
本 体 重 量	約 28.8kg
本 体 サ イ ズ	約 (幅)50×(奥行)30.3×(高さ)59.5cm (付属パーツを除く)
電 源 コ ー ド 長 さ	約 1.8m
材 質	ABS 樹脂、アルミニウム、鉄
付 属 品	冷風ダクト×1、ダクト用エルボ×1、ドレンホース×1
生 産 国	中国

※電気特性は、室温 27℃、相対湿度 60%の条件で運転したときの値です。

※冷房能力は、室温 30℃、相対湿度 70%の条件で運転したときの値です。



必ず
守る

[保管のしかた]

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、フィルターのお手入れをし、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- ドレンタンクの水を捨て、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- 晴れている日に半日程度「送風」運転をして機器の内部を乾燥させてください。
- 冷風ダクトを取り外し、本体を袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、**必ず製品を立てた状態にして直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。**

廃棄のしかた

- この製品はフロンガスが使用されており、フロン排出抑制法における第一種特定製品として扱われます。
 - この製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。
廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者様ご自身の負担により専門の回収業者に委託し、適正に処理してください。
廃棄についてご不明な点は、各自治体の窓口にご確認ください。
- ※フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
※この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要になります。
※フロン類の種類および容量は、本製品の銘板に記載しています。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

● 本体への表示内容

経年劣化により危害が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務づけられた以下の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】 本体に西暦表示してあります。

【設計上の標準使用期間】 5 年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用ができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準的な使用条件 JIS C 9921-3 によります。

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	冷風室外温度	35℃(乾球温度)
	冷風室外湿度	40%(湿球温度 24℃)
	設置条件	標準設置

負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(約 6 畳)

想定時間	1 年間の使用日数	東京モデル 冷風 6 月 2 日から 9 月 21 日までの 112 日間
	1 日の使用時間	冷風：9 時間 / 日
	1 年間の使用時間	冷風：1008 時間 / 年

● 製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 本体に触れるとビリビリ電気をを感じる
- その他異常や故障がある



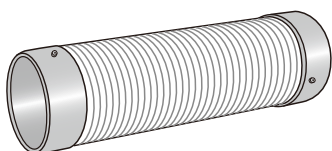
左記のような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

別売品

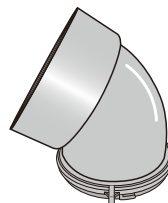
[オープン価格] ※別途送料がかかります。

●お求めの際は、お買い上げの販売店、またはお客様サポートセンターにお問い合わせください。

①冷風ダクト



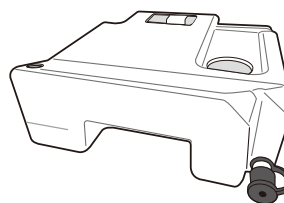
②ダクト用エルボ



③フィルター



④ドレンタンク



⑤ドレンホース



輸入元 : **MARUTAKA** (株式会社 丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。